11月3日「文化の日」
市内各所で多彩な催し

皆さん！来る十一月三日は文化の日です。この日は自由と平和を愛する人々による、いろ〱な文化活動が行なわれ、国を挙げてお祝いいたします。

わたくしたちの街でも市教育委員会と市文化連盟の共催でレクレーションと郷土文化の向上をかねた〝文化祭〟を皆さんの御協力をいただいて行うことにいたしました

この日は午前十時から午後五時まで富士見高校講堂で唄やオドリやお芝居などを数多く行います。

市民こぞっての年に一度しかも一回だけの文化の祭典をお見逃しのないよう。また折角市民の皆さんに楽しんでいただこうと一生懸命この日のために努力を重ねて来た出演の方々の汗の結晶に心から拍手を贈ってあげて下さい。

十一月一日から三日までは、絵画、書道、写真、切手、短歌などの市民の皆さんの腕によりをかけた応募作品の展覧会を本町四丁目の仮設店舗（旧名店街）で行います。いまその作品を募集しておりますから、どしどし御応募下さい。

同時に市内小中学校の児童生徒の図画、工作、習字、理科の作品展を岩松分館附属講堂、第一小学校講堂、田子浦中学講堂の三会場で行います。

可愛いお子さんの夢や希望の一ぱいこもった作品をぜひ一度見てやって下さい。

必ず受けよう 結核予防接種

結核予防法によって一般住民のレントゲン間接撮影および予防接種を去る十月十日より左記の通り吉原保健所の指示によって実施しておりますから必ず受けるようお願いします。料金は無料

受けなければならない者は生後三カ月以上の市民全員で（すでに実施した幼稚園児および小中学校児童五十名以上従事する工場事業場の従業員は除く）あります。

◇レントゲン、ツベルクリン接種
11月2日（中島公会堂）
〃 4日（柚木区長宅）
〃 5日（市役所）
〃 7日（〃）
〃 9日（〃）
〃 10日（中島公会堂）

◇ツベルクリン検診、BCG接種
11月4日（中島公会堂）
〃 6日（柚木区長宅）
〃 7日（市役所）
〃 9日（〃）
〃 11日（〃）
〃 12日（中島公会堂）

なおレントゲン撮影とツベルクリン接種は毎日午前九時半より午後三時まで、ツベルクリン検診およびBCG接種は毎日午後一時半より午後三時まで
（衛生課）

市立保育園
南本田部落に建設

市民待望の富士市立蓼原保育園が市内南本田地先に建設されることになりました。

この保育園建設は、かねてより市民の間に「一日も早く建設して欲しい」との強い要望などもあって本年度当初予算に新築費として三六〇万円を計上、ここに実現したもの、建物は木造アルミ瓦葺平家一棟（建坪三三五平方米（約九八、五坪）で工費は三六〇万円ときまり市内の井上建設株式会社が請負い来る九月二十九日より工事に取りかかっております。

完成は本年十二月十日を予定しておりますが事業開始は来年度（明春）四月一日より実施する予定で準備を進め市内の生後六カ月以上小学校入学前までの幼児を保育することになっています。

なお定員は六十名です。

またこの保育園建設敷地については地元蓼原部落民の絶大な御協力によって出来上ったものであります。

新刊書のお知らせ
＝公民館文庫＝

十月二十七日から十一月九日までは「読書週間」であります。いうまでもなく秋は読書の候であり、富士公民館文庫は土、日曜日など連日学生たちで賑わっております。

つぎに新刊書をご紹介しますと

◇総　記
時事年鑑（昭和三十五年版）、全国公民館年鑑（昭和三十四年版）、事件の裏窓

◇哲　学
生活に役立つ心理学、国語旧約聖書略解、国語新約聖書略解

◇歴　史
世界考古学大系、図説世界文化史大系、現代人の日本史、欧米岡目八目、世界の国旗、最も整理された日本史、皇太子御成婚記念写真

◇社会科学
よい教師になるために、日本経済の特質、経済白書（昭和三十四年版）、20世紀のセックス、勤労青年教育論、くわしく学べる中学生の社会、加賀能登の民話、学校放送ラジオテレビ図説、学校新聞図説、日本人の生活全集、ゆたかにすること新しくすること

◇自然科学
21世紀のレポート、物理計算問題研究、化学計算問題新研究、学術用語集（化学、数学、物理、植物、動物編）、図説科学大系、野草図鑑、原色日本高山植物図鑑

田子浦文庫
開館11月1日

富士公民館田子浦分館文庫は十一月一日から開館することになりました。みなさんの文庫として精々利用して下さい。現在約八〇〇冊の図書を取揃えましたが、今後も少しづつ新刊ものを購入していきたいと思っております。

同文庫の蔵書の一部をあげてみましょう。

◇総　記
大百科辞典、学生の百科辞典、朝日年鑑、学問と教養、日本新聞

◇哲　学
青年心理学、異常心理学、哲学概論、倫理学、ギリシヤ神話、風土、運勢の占い方、愛児の名付方

◇歴　史
世界史大系、大人名事典、世界史の研究、人文地理の研究、日本史の研究、中学歴史精解、中国故事物語、偉大なる道、失われた大陸、沈黙の世界、南極大陸

◇社会科学
社会科年鑑、六法全書、新法律学辞典、経済学小辞典、回想十年、世界の七つの顔、風俗の歴史

十五投票区に
選挙管理委員会できまる

富士市選挙管理委員会は、九月一日市役所で選管委員会を開き投票区を設けることについて協議しました。

いままでは十一の投票区でありましたが、いろ〱と慎重裡に協議した結果、更に四つの投票区をふやすことになり、これで十五の投票区になりました。

この投票区は本年十二月二十日以降選挙があったときか使われます投票区とその区域（部落名）は下の通り。

1	瀧戸集会所	滝戸
2	町公会堂	下中、東田、旭町、上中
3	岩松公民館	四ッ家、浦町、林町、新町、上町、瀬戸河原、緑ケ丘
4	四丁河原公会堂	橋下(五、六、七班を除く)四丁河原上、四丁河原下、水神
5	富士高校体育館	本市場新田、松本、中島上、中島下、中島神道町
6	第一小講堂	浅間町、本市場、本州社宅、平垣四、国久、五味島、柚木、平垣一、平垣二（一、十二、十四、十五班）
7	蓼原保育園	高島、藤間、川原宿、塔の木、南本田
8	市役所議事堂	平垣二(一、十二、十四、十五班を除く)平垣三、本町、十兵衛北、仲町、水戸島上（一、十四班を除く）橋下（五、六、七班）
9	水戸島公会堂	水戸島中、水戸島下（一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、二十班を除く）、森島、宮下、水戸島上（一、十四班）
10	第二小理科室	上横割、十兵衛南、下横割南、下横割北（十四班を除く）、水戸島下（一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、二十班）
11	東芝講堂	下横割北(十四班)東芝蓼原社宅、東芝寄宿舎、国鉄寮、大昭和社宅
12	田子浦中講堂	前田、柳島、川成島、東宮島、新田助六、旭化成社宅、中丸(十二班)
13	上五貫島公会堂	西宮島、上五貫島、靖国、三四軒屋
14	田子浦幼稚園浜分園	中丸（十二班を除く）、新浜
15	田子高井作次氏方	小須、田子、鮫島、前田新田

◆家庭メモ◆
衣食住とも
冬への準備急ぐ

さわやかな日がつづきます。〝秋冷〟の涼しい空気はなにをするにも楽にしてくれます。

各種の催し、行事がつづきますが、衣食住とも冬への準備に忙しい時期ですから計画的に早目にかたづけましょう。

衣

〇……夏ものをしまうと同時に、晴れた日に虫ぼしも必要です。よく〱リを落としておきましょう。

〇……フトンの手入ればかりでなくマクラの手入れも忘れずに

〇……あまり洗わないですむものを染めるのに子供でも簡単にできるクレパス染料というのをご存知ですか。布地にかいてアイロンをかけさえすれば、よいもので、カベカケや座ブトンカバーに向きます。子供さんの楽しみにいかがです。

〇……寒くなると、厚着になりがちです。子供たちは運動のはげしいものですから、なるべくうす着のくせをつけて下さい。

食

〇……季節の味覚が出そろった。豆腐のおつゆはマツタケが少し入っただけでもおいしいものです。ダシにマツタケを入れて、間もなく豆腐を入れたら火を止めにたたせすぎないこと。ユズの皮を少々入れるのがコツ。

〇……海の幸では秋サバ、このクン製の作り方をどうぞ

生きのよいサバを三枚におろし塩にして一晩おく。これを天火で一度焼くかむし焼きで十五分ぐらい。つぎにフライパンにモミガラか、おがくずを入れくゆらせる。この上にさつきのサバをのせて、ふたをして焼けばあめ色のクン製ができる。

住

〇……夜が長くなります。今年は照明に一工夫を……。台所、便所はとかく暗すぎるが近代的な衛生観念からいえば、むしろいちばん明るくすべき場所です。

〇……春の花だんのよそおいは秋のうちにはじまります。

チユウリップ、ヒヤシンスの球根植え、シャクヤク、ガーベラ、サクラ草など宿根草の根分けをします。こうしたものは秋に芽がふとるから、元根もタップリ入れてやりましょう。

お米の配給所を
―変えたい世帯え―

食糧管理法施行規則第二項の規定による生活上消費者の登録変更は毎年五月と十一月の二回とされております。

現在お米の配給を受けている世帯で配給所の変更を希望する世帯は十一月に行われる登録変更の時期を逃がさず次による手続を経て配給所を変更して下さい。

登録変更届書の受付期日は十一月十日・十一日の二日間に限られております（この機会を逃がすと来年の五月になります）届書用紙は受付場所である市役所商工課及び田子浦、岩松両支所に備付てありますので、該当欄に所要事項を記入し、印鑑及び主要食糧購入通帳と共に受付場所え提出して下さい。但しこの場合現在登録している配給所にお米の配給代金の貸借関係がない場合に限られております。
（商工課）

〝家庭の意義〟
＝公民館だより＝

家庭が出現したのは、人類の歴史において、そう古いことでもありません。人間はその昔、男も女も住居を定めず、心のままに天然の餌食を求めて山野をさまよい雨期等に際して一時的に洞窟や樹かげなどに同居したに過ぎなかったが文化の進歩に従い結婚制度が生れ、夫婦が同せいし、定住して家居を営み、共に子女の保護養育に当るようになり、男の子は主として父親に、女子は主として母親について直接生計に必要な智識技能を習得したのであります。これによって見れば家庭は、その根本において子女の教養と、その愛護のために出現したものと言えましよう。その後文化の発展が際限もなく進み、子女に伝授すべき智識が増大するにつれて、家庭における父母の教育のみでは不可能になったため、私共の祖先は塾を開き、また学校という特別な教育機関を設け、これに子女の教養の一部をまかせることになりましたが、元来学校教育は、その必然的事由のために、主として智識教育に限られ、性格教育や、精神教育は今もなお家庭において、父母の手にまつところが多いことは申すまでもありません。家庭は物質的利害を離れた愛と奉仕の行われる小さな団体で、社会の基礎であり、国家組織の単位であり、人類文化の根源であります。

従って社会の改良も、国家の改善も、民主主義も先づ家庭から始められなければなりません。元来家庭教育は相互の人格的接触によって行われるものであります。所が最近における家庭の精神雰囲気は、甚だ粗雑となり、しばしば下宿屋や合宿所と択ぶ所がないかの観を呈し、性格教育の機関としての価値が著るしく減殺されて来ました。いったい、私共の性格や能度は、生後二、三年までの間に家庭において創造されるもので、家庭教育の如何は個人の健康は勿論成功不成功、幸不幸等一切を決定する根本要素であり、祖国の再建も、平和も、人類の幸福増進も、その根本は政治や経済の問題であるより、家庭教育の課題であってその重要性は、どんなに高調しても高調しすぎることはないでしょう。

終戦後、封建的家族制度が廃止されたが、しかし決して家庭が廃止されたのではありません。今後家庭は、その本来の使命に覚め、家族相互のだんらんの場所として、また子女の教育の道場として一層尊重されなければなりません。
（富士公民館）